

茶品種‘ほくめい、むさしかおり’の球磨地域における特性

緑茶用品種‘ほくめい、むさしかおり’の球磨地域における生育は、主要品種‘やぶきた’より萌芽期はそれぞれ7日、9日遅く、摘採期は6日、8日遅い。また、一番茶収量は‘やぶきた’と比較して‘ほくめい’は多収であり、‘むさしかおり’は同等である。

農業研究センター球磨農業研究所 (担当者：坂本孝義)

研究のねらい

球磨地域は県内有数の茶生産地帯であり、大規模機械化体系による生産が行われている。しかし、主要品種‘やぶきた’が栽培面積の約9割を占めており、収穫作業が集中して適期収穫が困難となり、品質低下の一因ともされている。

そのため、球磨地域の気象条件に適応し、‘やぶきた’と収穫時期が競合しない特徴ある茶生産に適する品種を選定する。

研究の成果

1. ‘ほくめい’‘むさしかおり’は、‘やぶきた’と比較して、一番茶の萌芽期はそれぞれ7日、9日遅く、摘採期は6日、8日遅いため、摘採時期を拡大することができる(表1)。
2. 一番茶収量は、‘やぶきた’と比較して‘ほくめい’は多収であり、‘むさしかおり’は同等である(表1)。
3. ‘ほくめい’‘むさしかおり’の荒茶品質は、外観で‘やぶきた’と同等であるが、内質では同等またはやや劣る(表2、3)。

普及上の留意点

1. あさぎり町(球磨農業研究所)の表層多腐植質多湿黒ボク土における定植後10年までの成果である。

表1 ‘ほくめい’ ‘むさしかおり’ の一番茶萌芽期、摘採期及び収量

品種名	萌芽期		摘採期		収量 (指数)
	(月日)	比較(日)	(月日)	比較(日)	
ほくめい	4月4日	+7	5月7日	+6	126
むさしかおり	4月6日	+9	5月9日	+8	100
やぶきた	3月28日	0	5月1日	0	100

注1) 2009~2012年の4ヶ年平均、但し‘やぶきた’の収量は2009、2011、2012年の3ヶ年平均

表2 ‘ほくめい’ ‘むさしかおり’ の官能審査結果

試験区	外観		内質			合計
	形状	色沢	香気	水色	滋味	
あほくめい	19.0	19.7	19.0	18.7	19.3	95.7
むさしかおり	19.3	19.7	18.7	19.0	19.3	96.0
やぶきた	19.0	19.3	20.0	19.0	20.0	97.3

注1) 普通審査法による官能審査

注2) 2011~2013年一番茶の3ヶ年平均

表3 ‘ほくめい’ ‘むさしかおり’ の荒茶成分分析

品種名	全窒素	遊離アミノ酸	テアニン	粗繊維	タンニン	N/F値
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
ほくめい	5.9	3.6	1.8	17.8	14.7	0.33
むさしかおり	6.0	4.1	2.1	18.1	13.6	0.34
やぶきた	6.1	4.1	2.2	17.4	13.6	0.35

注1) S社製近赤外線分析計(GT-8)による分析

注2) 2011~2013年一番茶の3ヶ年平均